HSK ふきのとう文庫だより

No. 115

昭和48年1月13日第三種郵便物承認
HSK通巻番号556号
発行　平成30年7月10日
毎月10日発行　一部100円

編集　〒060-0006
札幌市中央区北6条西12丁目8番3
公益財団法人ふきのとう文庫
電 話(011)222－4839
FAX(011)222－4800
発行人　北海道障害者団体定期刊行物協会
細川久美子

弱視児と大きな字の本（拡大写本）

公益財団法人ふきのとう文庫　理事　山本淳子

拡大写本グループは弱視の子ども達のために文字を大きくした本づくりをしています。

弱視児という言葉はあまり聞き慣れないと思いますが、目の病気のためメガネをかけても視力があがらない子ども達のことです。

私がボランティアとして、ふきのとう文庫に通いはじめた頃、拡大本はどんな子ども達に読まれているのだろう、と思いながら本づくりをしていました。そのころは文字はまだ手書きからワープロに移行した時で大きい字に打ち直してもらうボランティアの募集をしていました。グループリーダーの菊池一雄さんと、拡大本を視覚支援学校や※ひとみの教室（通級教室Ｐ４参照）に届けた際に、以下のような弱視の子ども達の様子を知りました。

・話をするとき視線をうまく合わせられないため誤解されやすい。
・よく見渡せないために状況判断がうまくできず、行動が人より遅れることがある。
・敏捷性や平衡感覚が弱く、全身の動きや手先を器用に動かすことが苦手。
・目を近づけて物を見る習慣のために、かがみ込むような姿勢を取りがち。

また大人の弱視の方からも普段の生活の中で不便な事、拡大本の改良点などを聞くことができました。少しずつ見えにくい子ども達を理解するようになり、読みやすい本づくりへの試行錯誤が始まりました。

文字の太さが均等な字にする、目の動きや首の凝りなどを配慮して横書きに直す、紙の色は黒い文字との反射が少ないクリーム色にする。

絵は色あいがはっきり出せるクーピーペンで色ぬりをする。製本の方法は、なるべく一冊が軽くて持ちやすい厚さにして、昨年からは本に顔を近づけても安全なように角を丸くカットするなどの工夫をしました。そのほかに、学習のときに役立ててもらえるように、大きな字の漢字本を制作しています。

これらの活動を通しても弱視の子ども達の見え方がよく理解できているわけではありません。実際に弱視児のご両親でも、子どもの見え方はわかりにくいそうです。弱視の子ども達は学校の授業や家庭での勉強で教科書や参考書など、読むことを強いられています。見ることに苦労している彼らに読書をすすめるということが負担になるのではないか、と思うこともあります。しかし実際に彼らに接してみると、本を読むことが大好きな子どもがいて、好きなジャンルの本を選んで読むことを喜んでくれています。そんな様子を知ると大きな字の本の種類をもっと増やしていきたい、という思いが今も続いています。

昨年末に亡くなられた小林静江さんが声をあげて始まった拡大写本グループ〝すべての子どもに本のよろこびを‼〟がこれまでに、製本、色ぬりの多くのボランティアの方々に支えられ、引き継がれてきました。私達のつくる大きな字の本が、弱視児やちょっと読書が苦手な子ども達にも親しんで読んでもらえると嬉しいです。社会の中で弱視児が多くの人と、共に歩むことができるように見まもり、活動をすすめていきたいと思います。

平成二十九年度事業・決算報告

正味財産増減計算書

平成29年４月１日から平成30年３月31日まで　（単位　円）

科目	金額		
Ⅰ．増加原因の部			
資産増加額			
賛助会員収入	2,447,650		
寄付金	5,742,802		
助成金収入	1,650,000		
事業収入	2,041,332		
雑収入	19,062		
受贈益	501,000		
増加額合計		12,401,846	
Ⅱ．減少原因の部			
事業費	2,881,290		
管理費	6,288,859		
基本財産建物原価償却額	5,365,662		
その他固定資産原価償却額	614,807		
減少額合計		15,150,619	
当期正味財産減少額			2,748,772
前期正味財産額			187,028,809
期末正味財産合計額			184,280,037

財産目録

平成29年４月１日から平成30年３月31日まで（単位　円）

科目	金額		
Ⅰ．資産の部			
１．流動資産			
現金手元有高	98,330		
普通預金	1,382,520		
振替貯金	1,080,023		
流動資産合計		2,560,873	
２．固定資産			
①基本財産	154,620,425		
②その他固定資産	27,716,093		
固定資産合計		182,336,518	
資産合計			184,897,391
Ⅱ．負債の部			
未払い金	418,554		
仮受金	198,800		
負債の部合計		617,354	
Ⅲ．正味財産	184,280,037	184,280,037	
負債及び正味財産合計			184,897,391

決算報告

新築移転して四年が経ち、安定傾向が認められて来ました。

事業部門については、今年度も順調に活動を継続し、図書部門、布の本部門、拡大写本部門とも充分な成果を上げました。

収支決算は、収入が目標を大幅に超え、支出は逆に期初予算を四十万円程下回った為、大幅な利益を計上することとなりました。

固定資産の減価償却費が大きな数字なので、正味財産は二七〇万ほど減額されて平成三十年度に繰り越されました。

徐々に安定傾向が認められて来たこの時期を捉えて、懸案の布の本製作者の育成に力を注いで行けばと考えるところです。

事業報告

一、子ども図書館の運営

①開館日数　二〇三日
②入館者数　一〇、八八九人
③登録者数　二、八七一名（新規登録者五二九名）
④貸出し件数　図書　二八、九三八冊
（紙芝居　一、〇五〇冊を含む）
拡大写本　二三六冊
⑤図書の拡充　新規購入　一八七冊
紙芝居　二一冊
寄贈図書　一三〇冊

二、病院文庫の拡充

①北大病院文庫　〇冊
②ＫＫＲ（産科）一一冊（貸出し）　九冊（寄贈）
③おのだ眼科　五冊（寄贈）
④天使病院　一五冊　布の本　二冊（寄贈）
⑤市立病院　三三八冊　紙芝居　五五冊
布の本　二五冊
大型絵本二〇冊
拡大写本　二冊
絵本　二三六冊（貸出し）

三、布の本の製作・貸出

①製作　布の本　一七八冊
材料セット　二二九セット
遊具・タペストリー　一五種類
一、七九三点
②貸出し　布の本　八七七冊
遊具・タペストリー　三四種類
テキスト　二五冊
③販売　材料セット　一九六セット
布の本　三二四冊
遊具　四三八点
④寄贈　阿部小児科　北大病院文庫

⑤講習会開催　8／6・2／17・3／5　旭川大学
6／4　北翔大学
11／12　旭川中央図書館
⑥展示会（多目的ホール開催）
平成二十九年六月二十五日～二十八日
布の本・布おもちゃで遊ぼう　二一九名
平成二十九年十一月二十六日～二十九日
木育ひろばinふきのとう文庫　三五六名
平成三十年二月二十五日～二十八日
四周年記念　布の本・拡大写本展　一八八名
⑦主な外部イベント参加
7／30～8／1　子どもの本ブックフェア
9／7～9／8　北海道図書館大会
10／29　視覚支援学校・学校祭

四、拡大写本の製作

①製本　児童図書・絵本　四九八冊
②拡大写本
配本先　中央小学校　ひとみの教室　九九冊
札幌視覚支援学校　一〇五冊
旭川盲学校　三九冊
寄贈本　筑波大学附属視覚特別支援学級　四〇冊
計　二八三冊
貸出し　NPO法人「弱視」の子どもたちに、絵本を　一〇冊
高知こどもの図書館　八冊
青少年科学館イベント　一〇冊
大阪　弱視児童　山本君　二八冊
旭川おもちゃフェスティバル　九冊
大磯マサエさん　八冊
札幌学院大学、図書館大会　一四冊
計　八七冊
③新作拡大写本　四八種類　八五冊
赤レンガライオンズクラブ製作寄贈分　二四冊
合計　一〇九冊

五、機関誌の発行

七月、十一月、三月に三回、各二五〇〇部ずつ発行

六、子ども催事

おはなしの会　年十二回開催　二〇五人参加
うたう会　年十三回開催　四〇六人参加
手づくりあそび　年三回開催　一〇一人参加
人形劇　年一回開催　六四人参加
北大医学生アンサンブル・フラテ　年一回開催　四七人参加
世界の楽器展　年一回開催　一一七人参加
ケーナ演奏会　年一回開催　三三人参加
腹話術　年一回開催　三五人参加
催事合計　三七回
一、〇七七人参加

七、ふきのとう文庫利用者数

年間目標　二一、一八二人に対し実績は
一四、六六九人　達成率六九・三％
自主目標一四、二八〇人は達成しました。

❖絵本学会大会

六月二日、三日に札幌大谷大学短期大学部で第二十一回絵本学会が開催されました。今回は「多様化する絵本」と題されて、絵本作家あべ弘士さんの基調講演や多数の研究発表が行われました。ふきのとう文庫は会員ではありませんが、今回、ふきのとう文庫の設立等の話をして欲しいとの依頼を受け、高倉代表理事が演壇に立ちました。日本全国から、絵本の関係者多数集まった学会でした。講演にも一〇〇名以上の聴衆が集まり、パワーポイントを使い文庫の成り立ちや現在の状況、今後のことなどを発表しました。また、ふきのとう文庫の展示ブースも設置され、布の本や拡大写本も置き、実際に手にとって見てもらうことが出来ました。

大会が終わった翌日にふきのとう子ども図書館まで足を伸ばしてくれた方もいて、ふきのとう文庫を知ってもらういい機会となりました。



新しい拡大写本できました。

しごとをとりかえただんなさん	ノルウェーの昔話
ひゅうどろどろかべにゅうどう	角野　栄子　作
イチロー（努力の天才バッター）　1（全２冊）	高原　寿夫　作
イチロー（メジャーにはばたく夢）　2（全２冊）	高原　寿夫　作
ファニー（全３冊）	ファニーベンニアミ　作
あたまをつかった小さなおばあさん	ホープ・ニューウェル　作
ちきゅうのなかみ	長崎　夏海　作
かみなりドドーン！	後藤　竜二　作
ビーズのてんとうむし	最上　一平　作
ラストラン（全４冊）	角野　栄子　作
チョコレート戦争（全３冊）	大石　　真　作
たしかめてみよう	ローズ　ワイラー ジェラルド・エイムズ　作
地球がもし100cmの球だったら	永井　智哉　作
角川まんが学習シリーズ	
日本の歴史	
江戸時代　前期（全２冊）	
〃　中期（全２冊）	
〃　後期（全２冊）	

札幌赤レンガライオンズクラブからの寄贈

昨年に引き続き、札幌赤レンガライオンズクラブが三種類六冊四セットの拡大写本を製作し、札幌市内の「ひとみの教室」や視覚支援学校の四ヶ所に寄贈してくださいました。去る四月五日会長の松浦宏治様と担当の川原博之様が当文庫に来館し、高倉代表理事から御礼の意を込めて、感謝状を贈呈しました。

※「ひとみの教室」とは、視覚に心配がある、または見えにくくて困っているお子さんと保護者を対象にし、毎日地域の学校に通いながら週一回学習を補うために通う教室で、市内には中央小学校と日章中学校にあり、相談や指導を行っている通級学級のことです。



図書グループの活動

日本十進分類（ＮＤＣ）による本の整備

昨年来、進めていました日本十進分類法による本の分類訂正が図書係の協力で完了しました。第九分類「文学」である子どもの絵本等は今までのまま残してありますが、それ以外はこの分類法に沿ってラベルの付け替えをしました。公共図書館はほぼ一〇〇％この分類法を用いています。利用者にとっては探しやすく、図書係にとっても整備・配架しやすくなっています。



布グループの活動

北大ふきのとう文庫ボランティアに仲間入りして

布の本　さくらグループ　神山　晶子

今から二十五年ほど前、娘が北大病院小児科に検査入院した際、週に一度プレイルームで本の貸し出しや工作教室を開いてくれるボランティアの方々にお世話になりました。それが私と『ふきのとう文庫』との出会いでした。初めて見る手作りの布の本や遊具の可愛さとボランティア活動というものに感銘を受けました。数年後、布の絵本グループに加えていただき楽しく活動を続けてきました。

今年度から北大ふきのとう文庫の活動が隔週に変わったということで私でも両立できそうと思い正式に北大のボランティアにも登録しました。最初は本の整理をしたり工作の後片付けくらいしかできませんでしたが徐々に慣れ、途中で飽きてしまった子どもたちと布の本やカードで遊んだり読み聞かせをしたり、時にはエプロンシアターをしたりして楽しく過ごせるようになってきました。子どもたちやお母さんたちが楽しんでくれるとこちらも楽しくてあっと言う間に二時間が経ってしまいます。



これからも無理をせず楽しく活動を続けていきたいと思います。



書棚より

ふきのとう子ども図書館には、当たり前だけれどたくさんの本があります。その中には、絵本作家だけれど大人が読むために書かれたものもあり、子どもの本を探しにきて、お母さんも借りていくことも多くあります。今回はそんな二冊を紹介します。

あべ弘士『宮沢賢治「旭川。」より』

六月に札幌で開かれた絵本学会で基調講演をされたあべ弘士が、この自著のことを語っていました。あべさんは旭山動物園で二十五年間、飼育員をされていた後に絵本作家となりました。その経歴から動物関連の作品が多くあります。しかし、これは宮沢賢治が大正十二年八月二日に樺太に向かう途中、旭川に立ち寄ったときに書いた一編の詩をもとに創作したものです。



―植民地風のこんな小馬車に　朝早く
一人乗ること
の楽しさ「農事試験場まで行ってくださ
い。」「六条の十三丁目だ。」馬の鈴は鳴り駅者は口を鳴らす。　黒布は揺れるしまるで十月の風だ。一列馬をひく騎馬従卒のむれ、この偶然の馬はハックニー。たてかみは火のやうにゆれる―

賢治の詩はこんなふうに始まります。当時の旭川の情景が浮かび上がってくるような詩をあべ弘士は更に深めて、影絵のようなタッチの絵がどこか郷愁を誘います。馬車を引く小馬の動きが出てきますが、あべ弘士はじーっと見つめているフクロウや蝶々など、絵本の楽しさももりこんであります。そして、オオジシギが登場します。カミナリそっくりに羽音をたてて天高く登り、急降下していく姿が圧巻です。「ズビャーツク　ズビャーツク」と鳴くこの鳥は南からやって来て遠く樺太までいくこともあるそうで、賢治はまたあちらであえるかしらんと思うのでした。この詩を書いた碑が旭川東高の南側にあるそうです。

加古里子『万里の長城』

今年の五月九十二歳で亡くなった加古里子（さとし）さんは、『だるまちゃんとてんぐちゃん』（一九六七年）に代表される「だるまちゃん」シリーズや『カラスのパンやさん』などのユーモラスな絵本が人気で、多くの作品を残し今でもたくさんの子どもたちに読まれています。



加古里子は東京大学工学部応用化学科を卒業した技術系の人でもありました。様々なことに興味があり、その子どものための著作にも宇宙や地球に関した分かりやすい科学ものもあります。『宇宙』には、それがいったいどれほど広く、その果てはどうなっているか？巨大な宇宙の広がりをテーマに望遠鏡やロケットの歴史、星の進化とその一生、宇宙有限論なども紹介されています。

この『万里の長城』は歴史もので、小学生高学年くらいから読める本です。単に万里の長城の形成をたどったものではなく、地球の誕生から始まり、人類の進化、文化や文明の誕生、歴代王朝の変遷など長い中国の歴史を語った一冊です。構想三十年、作成五年ということです。大人が読んでも、その後の興味に繋がります。ふきのとう子ども図書館では、絵本の書架ではなく、歴史の分類に入っていますので、ぜひ見つけてください。

平成30年3月1日以降　賛助会費納入一覧

相原則子　阿久津政行　安部登　安藤雅子　池野正俊　石川浩　伊勢成子　伊藤建雄　猪股久美子　宇井三喜子　江口郁子　大越農子　大柳恵子　岡田良子　尾崎真知子　御友妙実　加藤知美　金山聖子　加森久美子　菊池篤子　吉開和子　鯨岡比呂美　栗原博子　古賀裕久　小林孝三　小柳裕彦　斉藤洲男　斎藤美年子　坂田伸子　佐々木美智子　佐藤一夫　柴田喜代子　島田紘　白戸秀　菅原一眞　杉下清次　鈴木隆　須藤純子　瀬山春彦　高下圭一　滝沢恵子　竹田義秋　谷敷昌秀　常本幸枝　冨永ナル子　中川治子　中野攻　中村務　西川平治　沼本厚子　野田龍一

相原靖　阿久津保文　阿部豊　飯田孝雄　石井明典　石川眞知子　市川大祐　稲垣智彦　井原恵美子　植野香雪　越前谷生子　大竹千鶴子　大柳正晴　岡本精二　押田法明　撹上久子　加藤紀夫　兜賢一　川上晃平　喜多宏明　木村淳子　楠茂　黒柳俊雄　國澤敞子　小林美佐子　小山洋子　斎藤勝二　堺隆　櫻井彩子　佐々木由里子　佐藤靖範　島功二　下村愛　進藤雅枝　菅原三重子　杉山一夫　鈴木智子　砂山陽子　宗本和博　高橋勝治　武田育子　館田勝久　田野中房枝　土居安子　中岡久美子　中北とも子　長野光甫子　中村美絵　西村敦子　根子香代　信田暁

青木アサミ　阿久津良二　阿部百合　飯村俊幸　石川悦子　石川美奈子　齋舞子　因幡一男　庵原宏章　内田和浩　遠藤知恵子　大塚宏哉　岡田桂子　小川基弘　小野道子　角田順子　加藤博己　神内紀子　菊井淑子　北構保男　木村靖子　國岡信子　小池章公　小林郁子　小林侑子　近藤龍夫　斎藤聖子　堺久子　櫻井一彦　笹部桂　繁富よしえ　島宏彰　下村笑子　神保和子　菅原睦子　杉山範子　鈴木幹夫　関谷知光　高倉聡子　高橋光彦　竹田久美子　田中清　丹暢夫　當瀬規嗣　中垣美智子　長沢洋子　中野久雄　中山芳子　西本千春　野崎美江　野焼桂子

青柳謙二　阿部園枝　荒澤禁子　五十嵐直子　石川一美　石黒英彦　井筒和幸　井上禎二　庵原律子　運上敏明　大内和子　大辻秀夫　岡田智雄　奥野和弘　小野寺信子　景山富子　金沢幾子　上条尚子　菊井禮次　北野京子　桐沢藍根　熊野清子　幸田忠五郎　小林寛　媚山静江　齋藤寛　斎藤仁史　坂井淑子　櫻井万里子　佐藤香　重野正子　島田小夜子　庄田順子　末永範子　杉崎正明　鈴木邦夫　鈴木美穂子　瀬田きくよ　高倉新喜　高橋みどり　武田忠和　谷川松芳　筒浦直子　戸田恵子　中川富子　中田和代　中村俊隆　浪花正雄　沼嗣雄　野島聡　橋爪侑子

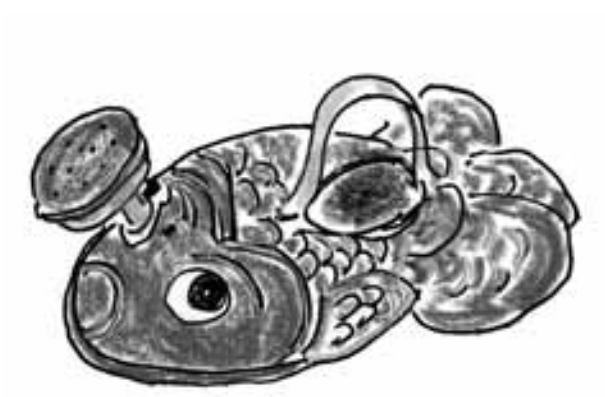
橋本カオル　畠山昌子　羽磨洋平　林孝子　檜垣正志　平山優子　福島美恵子　藤木香代子　藤森武夫　堀澄兒　昌川吉子　三澤龍子　三ツ井稔　向井亮　村田照　本吉春子　守部紀子　山内薫　山崎翠　山本安雄　横山昌子　吉竹栄子　和泉尚吾　渡辺順子

橋本岳大　花岡麻子　濱崎京子　早勢敏昭　平岡佳代子　廣澤洋子　福司重　藤島京子　古谷次郎　本間チエ　松木宏司　水口忠　南向円乗　村岡樹　村本昌王　盛野祥子　門馬公正　山岸健　山下修　山本夏子　吉田育子　吉野優子　渡辺英子

長谷川衛　羽磨玉枝　早川清子　原一夫　平岡徹　福井睦子　藤井茂男　藤田宮子　方川正弘　前田貴美恵　松本範男　水口千衣子　宮崎むつ　村上さおり　名和ワキエ　森下宏美　八島隆夫　山口良子　山田結菜　山本好枝　吉田行鎮　米澤智子　渡邉一弘

畠山節子　羽磨尚實　早川麻希子　原田和幸　平野和男　福沢紀子　藤井久惠　藤村久和　星野フサ　前田康行　三上節子　水橋佳也子　宮本弘子　村雲佳代子　望月扶美子　森永美恵子　安井真知子　山崎高　山根しのぶ　横路由美子　吉田佳子　米原悦子　渡辺功一

㈱安藤敏郎建築設計事務所
㈱ウヤマ　代表取締役会長・宇山照江
㈱札商管財公社
㈲ダイマツおおたき
アークスグループ労働組合連合
旭川市中央図書館・のんの
アゼリア産業　株式会社
あっぷる
阿部小児科医院・阿部和男
岩見沢友の会
エイジス北海道　株式会社
小樽グループパンダ・西村伸子
おのだ眼科
株式会社　K&I
株式会社　エス・アイザックス商会
株式会社　スドウ建設
近藤工業　株式会社
志洋商事　株式会社
新野税理士事務所・新野秀行
桑園第10町内会
伊達ブンブン文庫・代表　佐藤朋子
晃桜会
天使病院　院長　藤井ひとみ
道央情報サービス共同組合
東札幌眼科・合田千穂
北海道学校図書館　野村邦重
北海道新聞中販売所・中一夫
北海道労働者福祉協議会



前田倉庫　株式会社
室蘭ふきのとう文庫　代表・細野幸子
有限会社　雷屋・代表取締役　川合宗次
有限会社　馬場漁業部
ゆずりはの会・畠中裕美
ラベンダー法律事務
六花亭製菓　株式会社
わらべ

平成30年3月1日以降　寄付金納入者一覧

青沼静子　庵原宏章　川村智子　田辺敏子　福田

飯村俊幸　庵原律子　斎藤美年子　浪花正雄　溝上敦子

石川浩　宇井三喜子　髙倉嗣昌　畑悦子　八島千代子

市川亜由美　鍛治紀美子　髙倉実枝子　花岡麻子　山﨑高

海幸マネジメントオフィス
エス・バイ・エス事業協同組合
さくら総合M&A
札幌南ロータリークラブ　会長　服部信吾
しらかばライオンズクラブ
生活クラブ生活協同組合
税理士法人　さくら総合会計
パワーコンサル
藤徳（株）

平成30年3月1日以降　寄贈一覧

3月4日	童心社	絵本	1冊
3月7日	寺尾直子	絵本	1冊
3月12日	林下凌万	児童書	1冊
3月16日	井上せつ子	書籍	2冊
3月20日	石原優子	児童書	4冊
3月25日	ちゅうでん教育振興財団	児童書	1冊
	札幌市環境局	絵本	1冊
3月28日	本田キミコ	フェルト他	
4月8日	童心社	児童書	2冊
	学研	児童書	1冊
4月17日	阿久津政行	毛糸多数	
4月22日	童心社	絵本	2冊
	童心社	児童書	2冊
5月1日	太田育枝	書籍	1冊
	学研	児童書	1冊
5月6日	童心社	絵本	1冊
5月27日	偕成社	絵本	1冊
	尾崎真知子	芝桜他	
	福田都代	外国の絵本	25冊
6月1日	偕成社	絵本	1冊
	東小夕希	書籍	9冊
6月3日	学研	児童書	1冊
6月10日	八島隆夫	和紙	
6月12日	髙橋まり子	書籍	1冊
6月19日	長沢洋子	書籍	2冊
6月24日	童心社	児童書	1冊

ご支援ありがとうございました。

―― 布の本テキスト・材料セット価格表 ――

材料セットには作り方説明書を同封しています。

テキストNo	布の絵本	テキストの価格	材料セットの価格
11	かくれんぼだあれ	500円	販売終了
12	MY BOOK	500円	3300円
	このいろなあに		3830円
13	のりもの	500円	1600円
	だれのうち		3300円
14	Greeting	500円	3000円
	おやつ		1700円
15	おかあさん	500円	3000円
	どうぶつ		1800円
16	まる	500円	3300円
	むし		2200円
17	ちいさいおおきい	500円	3000円
	さかな		1700円
	新ドレミのうた	なし	5000円
	ちえあそび	なし	4570円
	わっ	なし	1700円
	みにくいあひるのこ	なし	5860円
遊具	ジャンケンサイコロ	なし	600円
	どんぐりころころ	なし	4340円
	おむすびころりん	なし	5540円
	どうぶつとなかよし	なし	1600円
	おいしいね！	なし	1600円
	おはな	なし	1600円
	おやつはなあに？	なし	1600円
	のりたいな	なし	1600円
	うみのともだち	なし	1600円
	とりのなかま	なし	1600円
	どうぶつだいすき	なし	1600円
	とり	なし	1600円

2018年７月よりテキスト価格を500円に値下げしました。

平成30年3月以降　行事一覧

3月4日　評議員会
3月5日　旭川短期大学　布の本講習会　11名
3月11日　第13回　うたう会
3月13日　NHK「つながる@北カフェ」生放送に出演（柳原）
3月16日　生活クラブ「ほっとたいむ」
3月18日　第12回　おはなし会
3月20日　運営会議
3月25日　手づくり遊び
4月1日　第1回　うたう会
4月5日　赤レンガライオンズクラブ　感謝状授与
4月8日　第1回　小学生のための語りの会
4月15日　第1回　おはなし会
4月18日　会計監査
4月20日　生活クラブ「ほっとたいむ」
4月24日　運営会議
5月8日　防災訓練
5月13日　第2回　うたう会
5月18日　生活クラブ「ほっとたいむ」
5月20日　第2回　おはなし会
5月23日　運営会議
5月27日　評議員会
6月2～3日　第21回絵本学会大会（札幌大谷大学短期大学部で開催）に参加
6月5日　札幌市清田区「北野ゆめの会」8名　見学
6月6日　白ゆり幼稚園　園児23名　引率5名
6月10日　第3回　うたう会
6月15日　生活クラブ「ほっとたいむ」
6月17日　第3回　おはなし会
6月22日　生活クラブ「おもちゃ講習会」
6月24日　北大医学生アンサンブル
6月26日　運営会議



北大医学生アンサンブル

あとがき

今年の六月はいつになく寒い月でした。七月に入ってようやく夏らしくなってきています。図書館は天気のいい日には不向きでしょうか？いやいや、天気にかかわらずたくさんの人が訪れてくれています。西野平和からの移転以来、本を借りるための登録者数も三千人を超えました。本を読むだけでなく布の本・遊具で遊んだり、おはなしの会、歌う会に参加したり、親子で楽しんでいます。庭の花壇も徐々に整備され、来年にはもっと良くなることでしょう。みなさんの来館をお待ちしています。

（野田　記）

編　集　公益財団法人ふきのとう文庫
代表理事　髙　倉　嗣　昌
〒060-0006 札幌市中央区北６条西12丁目８
☎ 011－222－4839　FAX 011－222－4800
http://www.fukinotou.org
E-mail:fukinotoubunko@ceres.ocn.ne.jp
平成30年７月10日　発行
毎月10日発行一部100円（維持会費に含む）

昭和48年１月13日　第３種郵便物承認
HSK通巻556号
発行人　北海道障害者団体定期刊行物協会
細　川　久美子

郵便振替＝02720-3-2300　銀行口座＝北洋銀行本店営業部普通預金　0035764　公益財団法人ふきのとう文庫

この機関誌は、“北海道共同募金会の配分”により刊行しています。
維持会員・寄付者のみなさん、ありがとうございました。